

とんがらし通信

夏を感じる☆
色とりどりのランタン☆

No.276

～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・活動紹介

(お誕生日ランチ・やくらいガーデン・バスに乗ってランチ外出・ディズニーオンクラシック 他)

- ・突撃!!インタビュー・つどい応援団
- ・Close-up 研修報告

仙台つどいの家 編集室

発行責任者 山口収

発行日 2025年 7月25日

〒983-0836

仙台市宮城野区幸町3丁目12-16

Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752

E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp

ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



がんばろう！陽平さん！ の巻

給食も食べ終わりのんびりムードのお昼過ぎ、突然陽平さんのお母さんから電話が入ったのは7月15日のことでした。『数日前から何となく体調が悪く今日かかりつけ医を受診したら、大きな病院を紹介された。紹介状を持って車で行こうとしたら、救急車で行きなさいと言われた。どうしよう…』という内容を興奮気味に話します。『午後からの仕事もあるし、陽平のお迎えにも行かなくちゃいけないし、どうしよう、どうしよう…』と焦っている様子でした。まずは落ち着くよう話し、『車は病院に置かせてもらって、医師に言われたとおり救急車に乗っていくように』『陽平さんは降所時間すぎてもコチラで過ごしてもらおうし、必要ならお家まで送っていくから心配しないように』『状況が分かったら改めて連絡するように』伝えました。数時間後、お母さんから再び電話があり、『…入院になっちゃいました。陽平のこと、お願いします…』と。。。

陽平さんが仙台つどいの家に通所を開始したのは、11年前のことです。動きがとても激しいという理由で、支援学校の高等部時代に実習した施設からは『飛び出しのある方は受け入れられない』と断られ、3月になっても通所先が決まらずにいました。区役所から『週1日だけでも受け入れてもらえないか』との連絡を受け、『週1日でどうやって関係性を築けていうんだ！』と週5日間の受け入れを決めたのでした。初めのうちこそ職員も散歩中にいつ飛び出されるのかと緊張しましたが、そんな素振りは微塵も見せず、程なく『通常の配慮があれば大丈夫』と確信しました。それでも情緒の波が乱れることは多く、通所開始直後には気持ちが落ち着かなくなるとお母さんや職員に掴みかかってくることもありました。当時のグループ職員はそんな陽平さんにじっくり寄り添って、こんがらがった心の糸をゆっくりと解いていったのでした。最近では、突然気持ちが乱れたり職員に掴みかかることもほとんど見られなくなってきました。少年のような素敵な笑顔でみんなの心を癒してくれます。

さて、いつもならお迎えに来る時間になっても待てど暮らせどお母さんが来ない状況に、陽平さんは不安そうに玄関をウロウロします。私は相談員さんと連絡を取りながら、『こりゃあ今日はここで1泊する感じかなあ』と考えていました。お母さんと二人暮らしの陽平さんにとって、お母さんが入院中に生活の場として頼れるのはショートステイだけです。毎日仙台つどいの家に来るのを楽しみにしている陽平さんに、山の中の入所施設でのショートステイ利用の選択肢は考えられません。ショートステイを利用しながら仙台つどいの家に通所できるのが最低限の条件です。それに加えて、環境の変化に弱い陽平さんのことを考えると、可能な限り利用する事業所数は少なくしたいと思いました。結局その日は、相談員さんと地域生活支援拠点のコーディネーターさんの尽力によって拠点内の緊急枠で受け入れてもらうことができました。土砂降りの雨の中を送っていく車中で、訳の分からないまま突然日常が変わってしまった陽平さんの混乱を思うと胸が痛みました。初めての場所でしたが、すべてを悟ったようにスムーズに自室に向かう陽平さんにひとまずホッとしました。それでも、明日以降の宿泊先は全く決まっておらず、不安を抱えたままの状況に変わりはありません。。。

翌日から相談員さんが心当たりのある事業所に受け入れの打診の電話をかけまくってくれました。陽平さんがもともと定期的に利用していたショートステイ先のほかに、グループホームのショートステイ枠などに状況を説明して受け入れをお願いしました。ちょうど夏休みに入るタイミングでもあり、なかなか良いお返事をもらえない状況に苦戦しました。週末の日中は仙台つどいの家で過ごしたり外食に行ったりできるよう、職員や陽平さんを知る法人内の職員にも助っ人をお願いしたりして何とか7月中のショートステイ先が決まりました。気づけば宿泊先は当初の想定を大きく超え、5箇所にもなっていました。

日々泊まる場所が違うこの状況を必死に受け入れながら、陽平さんは毎日仙台つどいの家に通ってきてくれています。送迎時にそんな陽平さんの健気な姿を見ると切なくなります。大好きな仙台つどいの家であるべく心穏やかに過ごしてもらって、少しでも早くお母さんが元気になって帰ってくるのを一緒に待ちたいと考えているのです。

(管理者 山口 収)

突撃!! インタビュー

東仙台教会 築澤さん

幸町地域には仙台つどいの家の利用者さんと関わってくれる地域の方がたくさんいます。

今回は、いつもリサイクル用の空き缶を届けて下さったり、とんがらし通信や作品展を楽しみにして下さっている東仙台教会の築澤さんにインタビューしました。(記: 松原)

〇つどいの家を知ったきっかけは?

1988年東仙台教会での「ともに祝うクリスマス」で知りました。ガールスカウトの方の「みんなと喜びを分かち合いたい」という一声が形になり、つどいの家の利用者さんを招待しました。クリスマスはイエスの降誕の喜びを分かち合う日で、つどいの家のみんなと喜びを分かち合うことが出来て、当時の神父は「これが本当のクリスマスだ」と涙を流して喜んでいました。

〇つどいの家の利用者さんとの関わりは?

国はしょうがい分野に対しての予算が少なく、空き缶リサイクルで協力したいと思いつどいの家との関わりが増えました。「表現展」「アマビエ展」などの作品展は自由な雰囲気があり楽しみにしています。以前しょうがい分野で勤めていた時に当時の施設長から「この子らを世の光に」というお話をされたことがあり、しょうがいがあるから世間から憐みの光を浴びるのではなく、皆が世の光になるべきだと思っています。つどいの家の利用者さんはたくさん地域に出ていき輝きを放ってほしいです。

〇つどいの家の利用者さんとやってみたいことは?

一緒に作品作りをしてみたいです。子どもの頃は「姉2人のようにやりなさい」と言われて自由に創作することが苦手だったので、利用者さんと一緒に自由な作品作りをしてみたいです。

つどい応援団

マルシェや夏祭りなどのイベントへの協力、ポスター掲示、募金箱の設置など普段からお世話になっている地域のお店を紹介していく、つどい応援団のコーナー。今回は「創作菓子 いとうや」さんをご紹介します。

創作菓子 いとうや 仙台市宮城野区岩切字畑中65-1

いとうやさんは明治20年創業、歴史のあるお店です。店内に入ると最初に目を引くのは、野菜の形をしたオリジナルの創作菓子! 色も見た目も本物そっくりで、てのひらサイズの可愛い和菓子です。中にはこしあんやずんだ餡、黒ゴマ餡など和菓子によってさまざまな餡が入っています。もうひとつの名物は、冷凍おにぎり! 宮城県産米を100%使用したおにぎりは、そばろ、和風ツナマヨ、大根など種類も豊富です。電子レンジで約1分温めるだけで、いつでも美味しいおにぎりを食べることができます。お店が遠くて、という方は、ウェブショップから購入することができます! ホームページから見ることで、気になる方はぜひご覧ください。いとうやさんのお菓子やおにぎりには、保存料などは一切使われていません。きび砂糖や天然塩、地元の野菜を使用して、一つひとつお店で丁寧に作っています。そんなこだわりがたくさん詰まったいとうやさん、ぜひお店に足を運んでみてくださいね! (記: 淡路)



お誕生日ランチ🌟

6月が誕生日のもみじグループの夏海さん、美月さんとお誕生日ランチに行ってきました。お誕生日だし、ちょっとリッチに高級中華を食べよう！ということで、メトロポリタン仙台「桃李」へ電車で行きました。ランチは、桃李の翡翠麺、点心、チャーハン、デザートを食べました。2人とも少し緊張しながら、とても美味しそうに味わっていました。そしてなんと、お仕事で会食されていた楽天イーグルスの銀次さんにも出会い、「こんにちは」と爽やかな挨拶をしていただきました。カッコイイ♡

緊張する…

帰りに「くだもののいたがき」でケーキでも買おうとしましたが、なぜか美月さんは何を聞いても「違う」とアピール。自分で車いすを漕いでエスパルの洋服店を見て回っていました。職員が勧めた服には見向きもせず、スヌーピーのTシャツに反応良く「これ！」と手を挙げていました。お値段を見ると6900円で予算オーバーだったため、泣く泣く断念してユニクロへ。なんとユニクロではスヌーピーコラボTシャツを売っていて、かわいいスヌーピーTシャツを購入できました。美月さんがスヌーピー好きかも！？ということ、洋服を見て歩くことも好きそうなこと、6900円のTシャツを選ぶというお目の高さ。色々な発見があった1日外出でした。

次はどんな出会いがあるのかな？楽しみです(*^▽^*)

(記:佐藤唯)

やくらいガーデンに行ってきました！

春の終わりの少しひんやりとしたある日、さんしょグループの彩也佳さん、篤史さん、めいぷるグループのゆかりさんと一緒に、加美町にある「やくらいガーデン」へ出かけました。この時期には、どんなお花が咲いているのかな？と楽しみにして当日を迎えました。

やくらいガーデンに着いて、広場に降りていくと水色のじゅうたん、ネモフィラ畑が一面に広がっていました。ほかにもパッチワークのビオラが見頃で、絵本のような景色でした。篤史さんは、ネモフィラ畑を目の前に両手を思い切り伸ばして気持ちよさそうに深呼吸をしていました。彩也佳さんは、ネモフィラや色とりどりのビオラを、目を細めたり大きく開けたりして、じっとりと眺めていました。園内には、アンブレラスカイやブランコ、看板などたくさんのフотスポットがあります。フотスポットがあるたびに、ゆかりさんは素敵なポーズとにっこり笑顔をカメラに向けてくれ、思わずパシャリと何枚も写真を撮ってしまいました。自然を楽しんだ後は、腹ごしらえ。併設のカフェで、各々カレーやサンドイッチなどをおいしくいただきました。彩也佳さんは、なめらかプリンが気に入ったようで、口をモグモグいいお顔。花より団子ではなく、『花も団子も』楽しんできた一行でした。

自然の中で過ごすゆっくりとした時間に心も身体もリフレッシュできた一日でした。季節ごといろいろな花を楽しめるので、違う季節にもまたみんなで訪れたいです。(記:安藤)

バスに乗って🚌ランチ外出



けやきグループの美奈さんがバスに乗って仙台一番町にある中華料理バーミヤンへランチに、そして勾当台公園で行われたふれあい製品フェアに参加してきました。美奈さんはバスが来るまで、「バス来た？」と道路を確認して、バスが来ると満面の笑みで「バス来た！！」と飛び跳ねて喜んでいます。バスに乗り込み、運転手さんがアナウンスをするたびに、美奈さんは「は〜い❤️」と返事をしたり、



運転手さんが「止まります」と言うと美奈さんも「とまりま〜す」と繰り返して笑っています。目的のバス停に到着すると楽しくテンションが上がった様子の美奈さん。バス停からバーミヤンまで人波をかき分けて仙台の街中を軽快に歩いている美奈さんの姿が印象的でした。バーミヤンでは、まずドリンクバーでメロンソーダを飲んだ後、せいろに入ったシュウマイが気に入ったようで5つ全てをペロリと完食していました。「ごちそうさまでした〜！」とバーミヤンを後にすると、勾当台公園に着くまで「次はどこ行くの？」とワクワクしている美奈さん。到着してすぐ、始まっていた消防音楽隊の演奏を最前列で楽しみました。仙台の街中を歩き、バスを待つ姿は活き活きとして、目が輝いている美奈さんでした🌟

(記：早坂)

ディズニー・オン・クラシック



もみじグループの美月さんとけやきグループの智香さんのお二人で、イズミティ21で行われた、ディズニー・オン・クラシックに行ってきました！『アナと雪の女王2』や『白雪姫』の音楽、テーマパークの楽曲まで盛りだくさん内容となっていました。初めは、会場の人が多さに驚いたのか、表情が硬く緊張気味なお二人…。防音が完備された親子室に移動し、いざコンサートが始まります。すると、迫力のあるオーケストラの演奏や、ヴォーカリストの圧巻の歌唱力を目の当たりにし、目をキラキラと輝かせながら、集中し鑑賞していました。段々とリラックスしてきたふたりは、楽曲に合わせて自然と身体を揺らし、ペンライトを7色に光らせ職員と一緒に盛り上がっています🌟所々登場する、ディズニーキャラクター中でも、智

香さんは「オラフ」や「七人の小人」「クリストフ」がお気に入りの様子で、ヴォーカリストの演技や声色に大笑いしていました。美月さんは、最近の活動で「アナと雪の女王」を観て、お気に入りの作品が増えたとのことで、「イントゥ・ジ・アンソウン〜心のままに」の楽曲が始まると、その歌声を聴いて、心震わせるよう身体に力を入れ、声を出している姿がとても印象的でした。お二人とも、心躍る素敵な体験ができた1日となりましたね。

(記：小沢)



自閉スペクトラム症支援者研修

所沢の国立障害者リハビリテーションセンター学院で行われた「自閉スペクトラム症支援者入門研修」に参加して、以下のことを学びました。

主な内容

- 1日目 ①自閉スペクトラム症とは、②アセスメント方法、③診断を受けた児童の安定した生活を目指しての報告、④自閉症の理解には何が必要か
- 2日目 ①幼少期、児童期、成人期の支援の方法と健康管理の方法
- 3日目 ①実際にお子さんを持つ母からの生活とこれまでの軌跡、②実践の場のコミュニケーション
③チームケアの内容

その中でも、講師の先生の言葉が特に印象に残りました。先生は自閉症に対し我々がどう認識をすればいいかについて、こうおっしゃっていました。『自閉症の事を正しく知って、自閉症と私たちの違いを楽しんでください。彼らは、独特で、ユニークかもしれない。どんな見え方、捉え方、考え方をしているのかを知ること、きっとお互いが環境を整え安心することができ、よりよく生きられると思います。自閉症の方たちにとって分かりづらいことだらけの世界を分かりやすく伝え、「あなたの周囲の世界には、こんなに美しい意味がある」ということを伝えてほしいと思うのです。彼らの、人生という旅行により添える「ツアーコンダクター」に私たちはなれるのです。』

沢山の学びを得ましたが、一番にこの言葉が印象に残りました。私も、つどいに集まる皆さんのコンダクターの一員として、今後も精一杯務めたいです。

(記:佐藤榛)

施設研修 ～ほうもん いえ つどい 訪問の家 集～

6月25～27日の3日間、神奈川県横浜市の通所施設「訪問の家 集」へ研修に行かせていただきました。昨年30周年を迎えた集では、パン作りをはじめ缶バッジ・バスボム・ストラップ等、数多くの自主製作品を取り扱っており、お仕事に力を入れています。全てのグループで物づくりをしており、利用者さんの特性に合わせた役割が割り振られていました。パン作りに関してはグループを限定せず、その日に「やりたい」方が参加するという形で、利用者さんの「想い」に寄り添った支援がされているのが印象的でした。実習に入らせていただいた「さーくる」グループでは缶バッジを担当し、色とりどりの缶バッジが作られていました。最近では着物の切れ端を利用した缶バッジのミニミラーも作られ、飛ぶように売れているのだとか。出来上がった作品は玄関に置かれたワゴンで販売され、夕方の帰り時間には購入する方々で賑わっていました。



地域との繋がりも大事にされていて、近隣のお店や住宅へ缶回収に行ったり、銀行への入金作業を利用者さんと一緒におこなったりしながら、交流を深めていました。「暑い中ご苦労さま」と利用者さんの名前を呼びながら声を掛けてくださり、地域に根付いているのだと感じました。

「今頃つどいの皆は何をしているのかな」と感じながら、「集」の良さ、「つどい」の良さ、それぞれに気づかされた3日間となりました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

(記:熊谷)

Close up!

近江晃歩（おおみあきほ）さん

手先が器用でいろいろなことができる晃歩さん。先日はもみじグループで『晃歩さんの餃子パーティ』を開催しました。晃歩さんは餃子を包むのが得意でお家で餃子を食べる時は晃歩さんがいつも餃子を包んでいると以前から聞いていました。「いつかやりたいね」と言っていて、今回ようやく実施することができました。

水、皮、餃子のタネをお皿の上に準備して場所を説明するとすぐに理解して包み始めます。作った餃子はきれいにお皿に並べてくれました。もみじグループの仲間や職員から「すごいね！器用だね！」と言われると、とても嬉しそうにニコニコ笑顔になって喜んでいました😊いつも家で作っている成果を存分に発揮してくれました。

今回は餃子を作って好評だったので、次はいちご大福を作ろうかなあと考えています。
(記：斎藤)



職員コラム

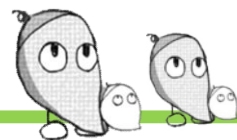
今回は！さんしょグループの 石木田美咲希さん

看護師の石木田です。産休から数えると約1年半後に、やっと復帰できました！子どもも、今月で1歳半になりました。つい最近出産したばかりの感覚で、時の速さを感じています。

週末はめっきり、遊びに連れて行く生活になりました。以前は、土日のどちらかは外出し、1日はまったりdayにしていたのですが・・・笑

暑い日が続いていて、外で遊ぶことが難しくなってきました。しかし、ぐっすり寝てもらうためには、疲れさせなければなりません(;^ω^)

走ることが出来るようになり、チョロチョロ動き回るので、親の方が疲労困憊です💦おかげで、いい運動になっているのかな？とプラスに考えて育児頑張ります！！



スケジュール schedule

令和7年 8月

- 2日(土) 休日開館日(夏まつり)
- 4日(月) 医療的ケア安全委員会
- 7日(木) 音楽療法① 生け花①
- 8日(金) フードドライブ①
- 14日(木) 防災ネットワーク訓練
- 15日(金) フードドライブ②
- 18日(月) 仙つ権利擁護委員会
- 21日(木) 防災訓練
- 22日(金) ケース会議 13:30 降所
- 25日(月) 職員会議
- 28日(木) 音楽療法② 生け花②
- 29日(金) 防災委員会
- 30日(土) 休日開館日



令和7年 9月

- 1日(月) 医療的ケア安全委員会
- 4日(木) 生け花①
- 5日(金) 法人衛生委員会
- 8日(月) コンサート
(アートウェイ・デュオ)
- 12日(金) 防災ネットワーク訓練
フードドライブ①
- 13日(土) 休日開館日
- 18日(木) 音楽療法① 生け花②
- 19日(月) フードドライブ②
- 22日(月) ケース会議 13:30 降所
- 23日(火) 休日開館日
- 24日(水) 職員会議
- 25日(木) 音楽療法②



ご協力ありがとうございます ボランティアとして協力して頂いた皆様

(5月12日～7月11日まで)

日下さん、平さん、三浦さん、吉田さん

見学・来訪者など

音楽療法：向井田先生・山崎先生・渋谷先生、生け花：濱谷先生、ダンスリズムダンス：早坂先生、聴覚支援学校、明成高校、宮城教育大学、東北生活文化大学、宮城大学、ピーススマイル：石道、東北福祉大学、ジェシーアイ、リンゴの木、初任者研修受講者2名、パークケア、愛心ヘルプサービス、見守りケアクレッシェンド、三晴産業、マジック木村ヒロシ、フラッツ102、福田酸素、塩屋、共栄防災、サンナイト、子ぬ方、ヤクルト、マルキ水産、サトー商会、ほまれフーズ、ダイエイミート、あぐり仙台、日本テクノ、東北食材、ホシザキ東北、UCC

法人職員：理事長、彩乃、森音、加藤、福地、半沢、小野、高橋、真衣子、初美、櫻井、榊原、梶原、川口、靖志、愛里、佐々木

(ほか多数 以上ご芳名敬称略・順不同)

缶の回収先大募集
アルミ缶、スチール缶問い
ません。
ご連絡お待ちしております。

缶回収

6月分の納品額

合計 3,300円 でした。

ご協力ありがとうございました。



編集後記

梅雨が明け、これからどんどん暑くなりますね。お祭好きな子供たちと一緒に、花火大会などたくさん出かけ楽しみたいと思います😊
(記：菊地)